



平成28年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月22日

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所 東
 コード番号 7590 URL http://takasho.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高岡 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理本部副本部長 (氏名)井上 淳 (TEL)073(482)4128
 四半期報告書提出予定日 平成27年6月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第1四半期の連結業績(平成27年1月21日～平成27年4月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第1四半期	4,899	△2.4	255	△17.5	177	△41.3	116	△46.7
27年1月期第1四半期	5,017	8.6	309	△0.4	302	△13.4	219	2.8

(注) 包括利益 28年1月期第1四半期 130百万円(73.5%) 27年1月期第1四半期 75百万円(△80.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第1四半期	9 53	— —
27年1月期第1四半期	17 88	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年1月期第1四半期	17,916	7,610	42.0
27年1月期	16,736	7,717	45.6

(参考) 自己資本 28年1月期第1四半期 7,521百万円 27年1月期 7,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	— —	0 00	— —	17 00	17 00
28年1月期	— —				
28年1月期(予想)		0 00	— —	17 00	17 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年1月21日～平成28年1月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,691	7.7	775	53.1	750	53.3	426	47.0	34 69
通期	19,404	5.0	1,176	94.9	1,129	66.0	624	93.2	50 82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年1月期1Q	12,379,814株	27年1月期	12,379,814株
28年1月期1Q	101,362株	27年1月期	101,362株
28年1月期1Q	12,278,452株	27年1月期1Q	12,278,452株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予測値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信 (添付資料) 2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果により、輸出や生産が持ち直し企業収益の改善等が見られ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、為替および輸入原材料価格の急激な変動や海外経済の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中において、当社グループは、庭は家での暮らしにおける5番目の部屋である「5thROOM」(フィフスルーム)に基づき、庭からできる省エネ、節電、安全をテーマとした「SMART LIVING GARDEN」(スマートリビングガーデン)と家族が笑顔で健康になる庭「ガーデンセラピー」をテーマとした自然や季節を楽しみ、心地良い庭での暮らしを目的とする新商品の拡充を図りました。さらに、タカショー総合カタログPROEX(プロエクス)2015年版を平成27年2月2日に発刊し、市場への啓発活動を行いました。

売上高につきまして、プロユース部門では、消費税率引上げ後の影響により新設住宅着工戸数が減少する中、アルミ製人工木「エバーアートウッド」を用いた「アートフェンス」シリーズの販売が順調に推移したことや、またこれらを構成する部材である「エバーアートウッド」がガーデンエクステリアとして使用されることから販売が順調に推移いたしました。さらに、木、石、塗り壁、和風など様々な天然素材を再現したアルミ複合板「エバーアートボード」の販売も順調に推移いたしました。

また、夜の庭を演出する「光」について、当社認定制度である「タカショーエクステリア&ガーデンライティングマイスター制度」の認定者の拡大を図り、ローボルト(12ボルト)LEDライト等の照明機器の販売が堅調に推移いたしました。

一方で、人工強化竹垣等の和風関連商品の販売が減少したことにより、売上は前年同四半期と比べ減少いたしました。

ホームユース部門では、前年に比べ商品投入率は増加しているものの天候不順の影響により販売店からのリピート率が低下したため、売上は前年同四半期と比べて減少いたしました。

海外展開におきましては、新商品の投入により販売子会社の売上が増加したことや、中国子会社の工場において品質基準の強化や在庫管理機能とデリバリー体制の構築を図ったことにより、売上は前年同四半期と比べて増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,899,709千円(前年同四半期比2.4%減)と減収となりました。利益面においては、売上総利益率は改善したものの売上高の減少の影響により営業利益は255,609千円(前年同四半期比17.5%減)となりました。また、営業外費用において、為替変動の影響により、経常利益は177,418千円(前年同四半期比41.3%減)となり、四半期純利益は116,964千円(前年同四半期比46.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は17,916,082千円(前連結会計年度末と比べ1,179,740千円増)となりました。

流動資産においては、ガーデニングシーズン立ち上がりの売上増加に伴い受取手形及び売掛金が4,422,172千円(前連結会計年度末と比べ1,260,433千円増)となりました。また、たな卸資産においても販売に向けた在庫保管により4,384,011千円(前連結会計年度末と比べ45,165千円増)となりました。

固定資産においては、建設中の建物及び構築物により建設仮勘定が73,985千円(前連結会計年度末と比べて61,358千円増)となりました。

流動負債においては、販売に向けての商品調達が先行して行われることから支払手形及び買掛金が3,761,822千円(前連結会計年度末と比べ946,769千円増)、また商品調達が上半期に集中することにより短期借入金が2,794,205千円(前連結会計年度末と比べ395,657千円増)となりました。

固定負債においては、運転資金を長期借入金から短期借入金へ移行させたことにより長期借入金が1,188,315千円(前連結会計年度末と比べ178,447千円減)となりました。

純資産においては、配当金の支払い等により7,610,670千円(前連結会計年度末と比べ107,324千円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成27年3月5日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が45,125千円減少し、利益剰余金が28,997千円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,408,277	2,560,127
受取手形及び売掛金	3,161,738	4,422,172
商品及び製品	3,424,705	3,356,798
仕掛品	271,967	286,954
原材料及び貯蔵品	642,172	740,258
繰延税金資産	107,651	180,240
その他	1,249,923	870,136
貸倒引当金	△103,680	△105,715
流動資産合計	11,162,757	12,310,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,600,663	2,568,632
土地	746,070	746,072
建設仮勘定	12,627	73,985
その他(純額)	455,037	467,628
有形固定資産合計	3,814,399	3,856,319
無形固定資産		
のれん	139,642	127,388
その他	553,356	557,596
無形固定資産合計	692,998	684,984
投資その他の資産		
投資有価証券	156,750	147,428
繰延税金資産	914	1,019
その他	938,592	941,820
貸倒引当金	△30,070	△26,464
投資その他の資産合計	1,066,186	1,063,804
固定資産合計	5,573,584	5,605,108
資産合計	16,736,342	17,916,082

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,815,052	3,761,822
短期借入金	2,398,548	2,794,205
1年内返済予定の長期借入金	1,057,341	1,048,180
未払法人税等	171,126	94,354
賞与引当金	58,285	144,467
その他	945,763	1,057,716
流動負債合計	7,446,117	8,900,745
固定負債		
長期借入金	1,366,763	1,188,315
退職給付に係る負債	112	148
資産除去債務	90,725	91,139
その他	114,628	125,063
固定負債合計	1,572,229	1,404,666
負債合計	9,018,347	10,305,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,307,776	1,307,776
資本剰余金	1,358,461	1,358,461
利益剰余金	4,246,117	4,125,350
自己株式	△26,468	△26,468
株主資本合計	6,885,886	6,765,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,800	44,831
繰延ヘッジ損益	191,000	110,474
為替換算調整勘定	437,433	501,434
退職給付に係る調整累計額	69,408	99,799
その他の包括利益累計額合計	746,643	756,539
少数株主持分	85,465	89,011
純資産合計	7,717,995	7,610,670
負債純資産合計	16,736,342	17,916,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年4月20日)
売上高	5,017,961	4,899,709
売上原価	2,989,465	2,905,702
売上総利益	2,028,496	1,994,006
販売費及び一般管理費	1,718,618	1,738,397
営業利益	309,878	255,609
営業外収益		
受取利息	1,470	557
受取手数料	12,068	13,029
その他	6,648	4,786
営業外収益合計	20,187	18,373
営業外費用		
支払利息	14,604	13,930
為替差損	5,863	68,936
その他	7,285	13,697
営業外費用合計	27,753	96,564
経常利益	302,311	177,418
特別利益		
固定資産売却益	188	-
特別利益合計	188	-
特別損失		
固定資産除却損	-	140
特別損失合計	-	140
税金等調整前四半期純利益	302,500	177,278
法人税、住民税及び事業税	166,056	70,400
法人税等調整額	△86,211	△13,590
法人税等合計	79,844	56,810
少数株主損益調整前四半期純利益	222,655	120,468
少数株主利益	3,115	3,503
四半期純利益	219,539	116,964

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年4月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	222,655	120,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,053	△3,968
繰延ヘッジ損益	△86,972	△80,526
為替換算調整勘定	△57,472	64,043
退職給付に係る調整額	-	30,390
その他の包括利益合計	△147,498	9,939
四半期包括利益	75,156	130,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,811	126,861
少数株主に係る四半期包括利益	345	3,545

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。